

会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 2-12	墨田区名誉区民選定委員会	
開催日時	令和6年7月2日（火）午後6時00分から午後7時00分まで		
開催場所	墨田区庁舎7階 庁議室		
出席者 (敬称略)	【委員】 青山侷、澁谷哲一、老田勝、藤森照信、須藤正、鎌形由美子、高林眞理、岸川紀子、加藤裕之（9名） 【事務局】 岩佐企画経営室長、杉崎秘書担当課長、秘書担当主査（上紙）、秘書担当主事（山口）		
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	
	非公開(傍聴できない)		
議題	1 区長挨拶 2 会長及び副会長の選任 3 諮問 4 諮問事項の審議		
配付資料	資料1 墨田区名誉区民選定委員会委員名簿 資料2 墨田区名誉区民条例・同条例施行規則 資料3 審議会等の会議の公開に関する基準の概要 資料4 五街道雲助氏の略歴		
会議概要	1 区長挨拶 区長より挨拶があった。 2 委員及び事務局紹介 各委員より名前・所属などの自己紹介の後、事務局の紹介を行った。 3 会長及び副会長の選任 委員の互選の結果、会長は青山侷氏、副会長は澁谷哲一氏が選任された。 4 資料説明 企画経営室長及び秘書担当課長から、配付資料についての説明を行った。 5 諮問 五街道雲助氏（本名：若林恒夫氏）を墨田区名誉区民候補者とすることについて、区長から本委員会に諮問を行った。 6 諮問事項の審議 諮問事項について審議した。併せて、名誉区民に認定された際の区の啓発事業等についての意見等をいただいた。		

	<p>【委員の主な発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間国宝であり、褒章も受けている。他にも色々と表彰されている方なので、名誉区民としてふさわしいのではないか。 ・人柄も非常に素晴らしい方なので、申し分ないのではないのか。人間国宝に選ばれたことについて、ご本人はむしろ皆さんに恩返しがしたいと言っていた。 ・墨田をテーマにした落語を披露していただきたい。 ・両国に寄席があるが、区内にある程度の拠点があることは大事だと思う。区内の落語の拠点として、今の形で盛り上げていくことにしていくのか。本所の周辺は、江戸文化を伝えるものが集積し始めている状況なので、そこに落語の拠点が何かつくれると良いのでは。 ・トリフォニーホール、生涯学習センター、曳舟文化センターなど色々な場所があるので、そういった区内の施設で落語を披露するなど行っていただきたい。 ・前回の顕彰式の際にお二人の苦労話や思い出話なども伺いたいと思った。 ・小学校の学芸会の演目の中に「寿限無」を取り上げた学校があり、それを見る機会があった。その中に子どもの大喜利があったり、いろいろなものをちりばめたようなものだった。学芸会だけではなく、ワークショップのようなことをやりながら、最終的に保護者の方や地域の方にお披露目をするというような催しだった。子どもたちもとても興味を持っていることが分かった。ぜひ学校教育の中でも、体験できるような機会があったらいいし、まして人間国宝の方が身近に住んでいらっしゃることを伝えたい。 ・コミュニケーション能力向上のために、落語を通じて、各学校で相手の心に刺さるような言葉の話し方が学校教育で生かせるかなと。今の子どもたちは自己肯定感が少ないと言われている。それが墨田でこういう方がいるというPRとして学芸会とか色々な行事の中で、紹介をして、それから話し方に取り組む。寺島中学校には落語研究会がある。人数は少ないようだが、こういう方がいることを伝えていくと、子どもたちにもやりがいが出て、さらに興味を持ってもらえるのではないか。 ・今の子どもたちに、落語の登場人物の気持ちのやりとりを理解してもらい、こういうことを言うとかこういう気持ちになって、こうなるんだという人情話をしていくのはどうか。なかなか学校の授業として教えづらいと思う。この人情話を聞く中でそうなのかっていうのが分かる、チャンスになるのかなと思う。 <p>7 諮問事項の審議結果</p> <p>本選定委員会の諮問事項に対する審議結果について、全会一致により五街道雲助氏が墨田区名誉区民としてふさわしい方であるとして、区長に答申することと決定した。</p> <p>8 その他</p> <p>閉会后、企画経営室長より今後の手続き等について説明した。</p>
所 管 課	企画経営室秘書担当（内線 3742）